

Y10b コンパクトデジカメ・携帯電話等による土星の簡易撮影法の実践

矢動丸泰, 小澤友彦 (紀美野町みさと天文台)

望遠鏡による一般市民向けの観望・観察において、土星は非常に人気が高い天体である。そこで、コンパクトデジカメやスマートフォン、携帯電話に付帯するカメラ機能を用いた土星の撮影会を、2013年5月18日(土)と19日(日)の二日間、みさと天文台 105cm 反射望遠鏡において実施した。

実施にあたり、コリメート法による撮影方法は鹿角平天文台で実施されホームページで紹介されている携帯用望遠鏡ガイドアダプターのアイデアを元とした。限られた時間の中で多くの方に撮影機会を与えられるよう、みさと天文台では以下の対策を施した。1. 大きなアダプターで位置合わせが可能となるよう、アイピースの見口部を広くする治具を取り付けた。2. 望遠鏡での撮影が円滑に進むよう、シミュレータを用いて位置合わせや撮影の練習を事前に行ってもらった。

撮影者全員(37名)からアンケートを回収した結果、アダプター取り付けや撮影練習などの事前作業を簡単と感じる人(32.4%)は難しいと感じる人(6%)よりも多かった。一方で撮影を難しいと感じた人が多かった(54%)のは、悪天候であったためと考えられる。また、全員(100%)が撮影会にもう一度参加したいと答えていた。これは、土星に対する興味関心が高く美しい土星の写真を撮影したいという欲求からくるものと考えられる。参加者の約60%が初来台であることも合わせて考えると、土星の撮影会は天文台への来訪を促す効果的なテーマの一つであると言える。

本講演では、イベントの内容を紹介し、アンケート結果や意見・感想を示すとともに、使用したシミュレータの実物などもご覧いただき議論する。